

---

2014(平成 26)年度 事業報告書

学校法人 池坊学園

---

## 2014年度 (学)池坊学園・事業報告書

2014年4月1日から2015年3月31日まで

学校法人池坊学園 京都市下京区室町通四条下る鶏鉾町491番地

### 1 法人の概要と計画

#### (1) 法人の沿革

1951年	池坊華道会全国支部長会議で池坊学園設立案可決（設立委員長 山本忠男）
1952年	学校法人池坊学園、池坊学園短期大学（以下、「短大」という）設置認可（3月5日）
	短大開学（4月1日）。第1回入学者は国文科、服飾科 計43名
	短大学生会発足
	池坊学園実践学院開学（10月から夜間部開設）
1954年	短大卒業者のための華道研究科を付設（1967年、研修科に改称）
	短大同窓会発足
1956年	和心館竣工
1957年	池坊学園図書館で華道文献目録編纂
1958年	木造本館校舎の大半を焼失、四条門開門
1959年	洗心館竣工
1960年	池坊学園お茶の水学院開学
1962年	短大国文科に文芸と教職の選択コース制。服飾科を生活科学科に改称し、
	服飾・家政・教職の3選択コース制
1966年	「池坊学園短期大学」を「池坊短期大学」に改称。本館竣工
	池坊学園実践学院を池坊文化学院（以下「文化学院」という）に改称し、昼間部開設
	池坊学園お茶の水学院を池坊お茶の水学院（以下「お茶の水学院」という）に改称
1969年	池坊短期大学生活科学科を家政科に改称
	元池坊学園総理事山本忠男死去
1972年	短大付設の研修科は文化学院へ編入
1977年	学園創立25周年を記念し、隣接土地・建物を購入、美心館と命名
1980年	短大の一般教育科目中の総合科目として、「華道と現代生活」が正課に認可
1985年	短大の国文・家政両科の選択コース廃止
1987年	一般教育科目に情報科学開講、パソコン設置
1990年	和心館4教室に、AV教育システム設置
1991年	一般教育科目の分野区分を廃止し、共通科目として名称変更
	池坊学園学舎改築基本計画策定

1993年	科目等履修生制度設置
	短大の共通科目中の総合科目として、「茶道と伝統文化」が正課に認可
1994年	京都・大学センター（現・大学コンソーシアム京都）発足、加入。単位互換協定に参加
1995年	学舎改築第1期棟「美心館」竣工（旧美心館の地）
1997年	学舎改築第2期棟「洗心館」竣工（旧洗心館）
	短大国文科を日本語日本文化学科に、家政科を生活文化学科に改称
	池坊文化学院（各種学校）が専修学校として設置
1998年	博物館学課程設置
1999年	学舎改築第3期棟「和心館」竣工
	和心館に池坊短期大学むろまち美術館・体育館を設置
2000年	短大日本語日本文化学科を文化芸術学科に、生活文化学科を環境文化学科に改組転換
2001年	華道文化コース設置
2004年	ビューティアートコース設置
2005年	ファッションコーディネートコース設置
	中庭「コートるり」を整備
2007年	華道文化研究所を池坊短期大学付設機関に移設
	池坊短期大学むろまち美術館をむろまちアートコートに改称
2008年	製菓衛生師養成施設設置認可（製菓クリエイトコース設置）
	フラワーマネジメントコース、ブライダルプランナーコース設置
2009年	エステティシャンコース設置
2010年	医療クラークコース、フードビジネスコース設置
	池坊文化学院正科生募集停止
2011年	フードビジネスコース、ビューティアートコース募集停止
2012年	メイクアドバイザーコース、トータルビューティーコース設置

## （２） 設置学校の学科・コース編成

### ①池坊短期大学

文化芸術学科（入学定員 75名、収容定員 150名）

華道文化コース

フラワーマネジメントコース

ブライダルプランナーコース

医療クラークコース

環境文化学科（入学定員 200名、収容定員 400名）

ファッションコーディネートコース

製菓クリエイトコース

ビューティアートコース

メイクアドバイザーコース  
 トータルビューティーカーコース  
 エステティシャンコース

**(3) 役員・役職者** (2015年3月31日現在)

理事 8名 (定員 7名以上10名以内)

理事長 谷野光昭、理事 松井邦子、川本八郎、池坊美佳、中路喜久子、  
 岡稔晴、岡山栄雄、田中彰寿

監事 2名 (定員 2名)

小林一郎、堀村不器雄

評議員 21名 (定員19名以上26名以内)

谷野光昭、松井邦子、川本八郎、池坊美佳、中路喜久子、岡稔晴、  
 岡山栄雄、田中彰寿、西口武雄、山本美千子、大島利郎、小野美智子、  
 杉本和子、水口錠二、松本公一、小池基正、馬杉慎也、村田久美子、  
 前田正美、西田永、上原よしゑ

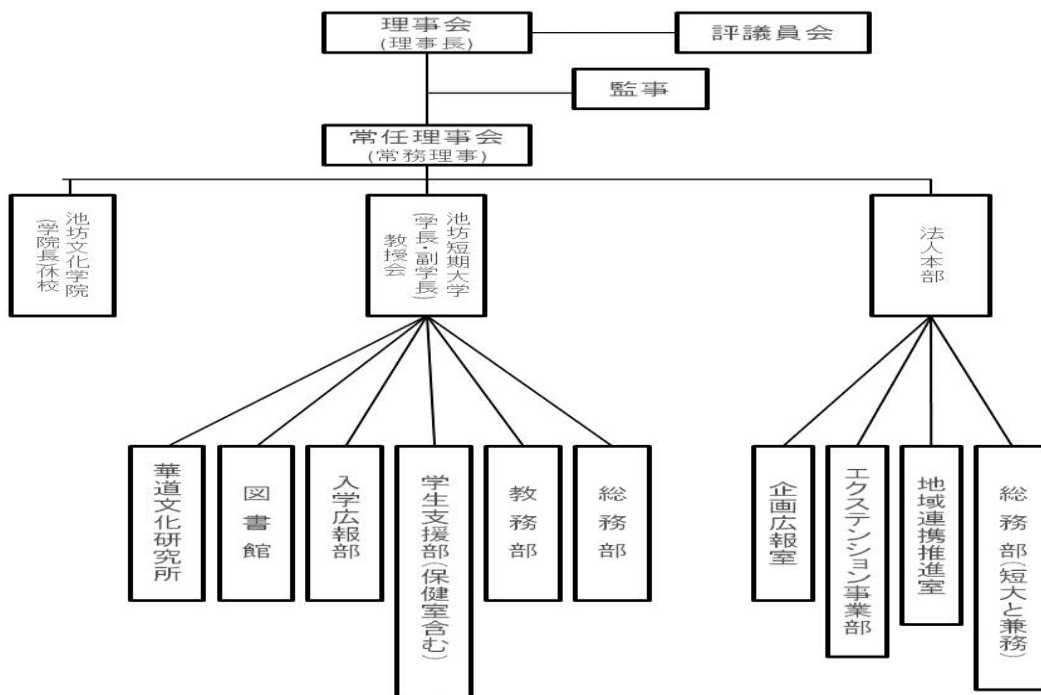
**(4) 人事・組織** (2015年3月31日現在) 学園組織図は別表1の通りである。

法人職員 5名

短期大学教員 文化芸術学科10名、環境文化学科7名 計17名

短期大学職員 18名 (アルバイト2名を含む)

表1



**(5) 池坊短期大学学年暦**

別表2の通りである。

## 2 事業の概要

### (1) 当該年度の事業の概要

#### ①理事会、評議員会に関する事項

2014年度

- 4月25日(金) 第1回理事会  
(1) 幼児保育学科学科長候補者採用について
- 5月30日(金) 第2回理事会  
(1) 2013年度決算および事業報告について  
(2) 冷温水発生器オーバーホール工事について
- 5月30日(金) 第1回評議員会  
(1) 2013年度決算について
- 6月27日(金) 第3回理事会  
(1) 幼児保育学科開設に伴う  
既存学科・コースの整理統合について  
(2) 平成26年度経営改善計画書について  
(3) PCリプレイス工事について  
(4) 図書館リニューアル工事について  
(5) 池坊お茶の水学院外壁ディスプレイ改修工事について
- 7月25日(金) 第4回理事会  
(1) 規程について  
・学校法人池坊学園ハラスメント防止対策に関する規程  
・学校法人池坊学園育児休業規程  
・学校法人池坊学園介護休業規程
- 9月 2日(火) 第5回理事会  
(1) 幼児保育学科就任予定教員について  
(2) 規程について  
・学校法人池坊学園ハラスメント防止対策に関する規程  
(3) 池坊お茶の水学院  
屋外看板撤去作業工事の概要変更について
- 9月26日(金) 第6回理事会  
(1) 幼児保育学科就任予定教員について
- 10月31日(金) 第7回理事会  
(1) 幼児保育学科就任予定教員について  
(2) 幼児保育学科設置に関する丸善との覚書締結について
- 11月28日(金) 第8回理事会  
(1) 評議員会へ諮問  
2014年度 補正予算について  
(2) 評議員会へ諮問  
2015年度 予算編成方針について

- (3) 評議員会へ諮問  
 幼児保育学科開設に伴う寄附行為の変更について
- (4) 幼児保育学科就任予定教員について
- (5) 学則変更について
- 11月28日(金) 第2回評議員会
- (1) 2014年度 補正予算について
- (2) 2015年度 予算編成方針について
- (3) 幼児保育学科開設に伴う寄附行為の変更について
- 11月28日(金) 第9回理事会
- (1) 2014年度 補正予算について
- (2) 2015年度 予算編成方針について
- (3) 幼児保育学科開設に伴う寄附行為の変更について
- 12月19日(金) 第10回理事会
- (1) 洋式トイレ化計画(業者選定)について
- 1月30日(金) 第11回理事会
- (1) 規程の改定について
- ・学校法人池坊学園 専任教員等定年規程
  - ・池坊短期大学専任教員任用規程
  - ・池坊短期大学任期付教員任用規程
  - ・池坊短期大学学校納付金納入に係る事務取扱規程
- (2) 客員教授について
- (3) 教員役職者人事について
- (4) 教員採用について
- 2月27日(金) 第12回理事会
- (1) 規程の改定について
- ・池坊短期大学学則
  - ・学校法人池坊学園出張旅費規程
  - ・学校法人池坊学園経理規程
  - ・学校法人池坊学園物件調達・管理取扱細則
- 3月27日(金) 第13回理事会
- (1) 評議員会へ諮問  
 2015年度 当初予算および事業計画について
- (2) 規程の改定について
- ・池坊短期大学教授会規程
  - ・池坊短期大学学則
  - ・池坊短期大学研究倫理規程
  - ・池坊短期大学長期履修学生規程
  - ・池坊短期大学「科学研究費補助金」に関する規程
  - ・学校法人池坊学園出張旅費規程
- (3) 社会福祉法人むろまち会との賃貸借契約について

- (4) 2015年度 36協定について
- (5) 任期満了に伴う理事退任について
- 3月27日(金) 第3回評議員会
  - (1) 2015年度 当初予算および事業計画について
  - (2) 任期満了に伴う評議員退任について
- 3月27日(金) 第14回理事会
  - (1) 2015年度 当初予算および事業計画について

## ②学園の運営に関する事項

理事会の執行機関として常任理事会を開催。(本年度は12回開催)

## ③短期大学の運営に関する事項

教授会を、原則毎月1回水曜日を定例とし、開催(本年度は20回開催)。主として、入試判定・卒業判定等の成績に係る事項、学籍に関する事項、次年度カリキュラム改編等に関する事項、教育研究・カリキュラムおよび科目担当等における学事関連事項について審議を行った。

※教学系委員会等：学長室にて教学施策原案づくりを行い、教員会議からの提案とともに学務委員会(教職横断型教学系委員会として設置)にて政策調整を行い、教授会へ上程。2015年2月に教学組織を改編し、学長室を廃止。学務委員会は教学役職者による教学幹部会議に改め、教学に係る案件等を審議し、教授会に上程する形とした。併せて、教員会議は学科の特色を打ち出せるよう、学科会議へと変更した。その他主要な委員会としては、入試委員会、自己点検・評価委員会等がある。

※出版物：履修の手引き・授業計画書、学生生活のしおり、自己点検評価年次報告書

## ④エクステンションに関する事項

法人にエクステンション事業部を設置し、エクステンション講座、教室開放、求職者支援訓練等の各種講座を開設した。

## ⑤事務体制に関する事項

※関連する会議：企画広報室会議、法人事務責任者会議、SD委員会、花きらきら委員会等。

## ⑥学内行事に関する主な事項

- ※祇園祭協賛「花きらきら」華展 7月開催
- ※短期大学「大学祭」 11月開催
- ※短期大学「卒業展」 2月開催

### 3 財務の概要

2014年度決算諸表、および2014年度決算の概要は、添付のとおりである。

### 4 資料

池坊短期大学学生数の推移

(各年度5月1日現在)

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014
文化芸術学科1年次生	63	55	39	41	36	38
文化芸術学科2年次生	57	65	52	36	40	31
学科計	120	120	91	77	76	69
環境文化学科1年次生	147	110	91	85	87	78
環境文化学科2年次生	141	148	99	87	83	79
学科計	288	258	190	172	170	157
合計	408	378	281	249	246	226

### 5 事業内容

#### (1) 幼児保育学科開設について

2015年3月末日までに、文部科学省および近畿厚生局へ提出が必要となる幼児保育学科開設に必要な申請書類を幼児保育学科開設準備室で行った。

申請書類作成にあたっては、主として基本計画書および設立趣意書内記載事項①学科の人材養成その他教育研究上の目的 ②アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの各方針 ③入試制度 ④開設に必要な採用人事を計画的に行い無事に提出することができました。

一方幼児保育学科開設に伴い、既存の2学科体制についても学際融合によるグランドコンセプト、全学ディプロマならびに学科ディプロマの策定を開始し融合を検討したが、こちらについては融合のための条件が厳しく凍結することとなった。

#### (2) 社会的責任を果たす経営体制の強化について

法人の理事には学長および外部の学識経験者が就任し透明性の高い理事会となっている。日常業務の審議機関である企画広報室会議は原則隔週開催し、必要な施策を迅速に講じている。

また、本学園における内部統制の有効性を高めるため、監事と会計監査人と連携し、会計と業務の監査機能を強化することによりコンプライアンスの実現に努めている途中である。情報公開についても学校教育法施行規則等に従いホームページや事業報告書等で積極的に開示をしている。今後も透明性の高い経営体制の維持、強化に努める。

#### (3) 教学改革について

魅力ある学校づくり、短期大学士教育のさらなる充実を図るため、適正規模の学校運営、教育の質保証を前提として、全学における教学体系のプログラム化を推進し、コース・科



目の教育体系、履修モデルチャートの策定を進めている。なお、教育情報の公開等ステークホルダーへの説明責任を果たせる施策等、以下の内容を中心に教学幹部会議にて議論し、検討を進めている。

①短期大学の意義と建学の精神に則った教学体系の確立を目標に、学科ディプロマを全学ディプロマとの連関よりさらに理解しやすいものに整理し、グランドコンセプト化を行う。

②学則定員の変更とカリキュラム全体の改革

③教育の質保証のため、学長のリーダーシップの推進のもとに教学組織体制の再構築および責任の明確化をはかること、ならびに担任制を含めた教学のあり方そのものに対してさらなる改善を加えていく。

④全学教学マネジメント（教学P D C A）の導入、点検等を通じた教員・授業評価制度の抜本的見直し、教育力・人間力の醸成のための施策の検討をすすめる。

⑤学生満足度の向上、退学者防止のための施策、および学生目線の教育プログラム等を策定する。

⑥教育総合支援体系として、入学前教育、初動教育、初年次教育の教育体系を確立する。

学則定員については幼児保育学科新設に伴い、現在の文化芸術学科を 50 名、環境文化学科を 100 名に変更する予定で進めている。退学率防止については引き続き検討・実施していくテーマであるが、2014 年度は 1.33% となっておりこれまでの効果が現れている。更に教育プログラムについても現場ニーズを反映し、より満足度の高いものに改革を進めているところである。

#### **（４）エンロールメントマネジメントについて**

「入学前教育～教育学生支援～進路（就職・編入学）の確保・支援」について全学での一貫した学生データ管理、情報共有、きめ細やかな指導をおこなっている。この結果、就職率の向上や退学率の低下など具体的な効果が出始めている。

#### **（５）入学志願者・入学者の安定的確保を目指す**

全教職員がそれぞれの役割の中で、志願者のニーズを把握すると共に、その共有化を図っている。また、訴求点の明確化に伴い各学科・コースは、ディプロマポリシーを念頭に置いた特色化を図り、人材養成実績（卒業後の進路）を明確にするように進めている。特に他校との比較分析を実施し、より満足度の高い教育が提供できるよう検討を進め改善に取り組んでいる。その結果として退学率についても大幅な減少を達成できている。入学広報部を中心に大学全体で、オープンキャンパス・高校訪問・入試相談会等を強化し、高校生や高校教員との直接的な接触の機会を通して、本学への理解を深め、志望度を高め、ミスマッチのない入学者を増加させる取り組みを強化している。特にオープンキャンパスにおいては本学の教育について十分に理解していただけるような取り組みを強化している。また、これまでの入試結果から、訪問対象高校を抽出し、訪問者の担当地域・担当校を設定し、継続的に同じ高校を訪問することにより、高校との信頼関係を築き、当該年度、および将来に向けた志願者獲得を目指している。

## **(6) 外部資金獲得のための諸方策について**

大学の使命が教育・研究活動の遂行にあることは言うまでもなく、このことを実現すべく質の向上をどこまでも追求していく必要がある。

本学としては 2014 年度研究費（2013 年度申請）として 2 件、2015 年度研究費（2014 年度申請）として 2 件の申請を行っている。結果、2015 年度研究費（2014 年度申請）1 件が採択されている。今後、研究結果を教育へ反映させていく予定である。

## **(7) エクステンション事業の充実について**

エクステンション事業としての職業訓練、貸出および課外講座等の充実を図り、より一層学園の活動が社会との関わりを強められるよう取り組んだ。

## **(8) 施設設備・情報環境の整備について**

### ①進路サポートルーム・保健室および図書館改修工事

貸与による池坊保育園増床のため、和心館 2 階にある進路サポートルーム等を図書館へ移設する工事を 8 月中旬から約 1 ヶ月間実施した。

②windowsXP サポート終了に伴う情報関連のハード・ソフトのリプレースを 5 月に実施した。

③学生満足度向上のため、美心館および洗心館の和式トイレを洋式トイレに交換するとともに利用者数が一番多いラウンジ前トイレの全面改修を行った。

④経年劣化による不具合が頻繁におこる吸収式冷温水機のオーバーホールを計画的に実施した。

以上

[事業計画書に関する問い合わせ先]

学校法人池坊学園 経営企画室

〒600-8494 京都市下京区室町通四条下る鶏鉾町 4 9 1 電話：075-351-8581

別表 2

## 2014年度 池坊短期大学「学年暦」

前期	行事予定	後期	行事予定
4 / 1 (火)	2014年度開始・第63回入学式	9 / 19 (金)	後期 授業開始(仮受講期間～9/25)
2 (水)	新入生オリエンテーション 履修登録 学生生活(健康診断含む) 4/4(金)フレッシュマンキャンプ	20 (土)	大学コンソーシアム科目授業開始
3 (木)		23 (火)	秋分の日(平常授業)
4 (金)		25 (木)	後期 履修登録変更 締切日
5 (土)		10 / 13 (月)	体育の日(平常授業)
7 (月)		前期 授業開始(仮受講期間～4/12)	11 / 3 (月)
12 (土)	前期 履修登録締切日	14 (金)	準備(休講)
16 (水)	大学コンソーシアム科目授業開始	15 (土)	大学祭 展示(休講・大学コンソーシアム科目休講) 展示・片付け
29 (火)	昭和の日(平常授業)	16 (日)	
5 / 2 (金)	休講	17 (月)	創立記念日・休講
3 (土)	憲法記念日(休日)	23 (日)	勤労感謝の日(休日)
4 (日)	みどりの日(休日)	24 (月)	振替休日(平常授業)
5 (月)	こどもの日(休日)	12 / 15 (月)	後期 単位認定試験 時間割発表(10:00)
6 (火)	振替休日(休日)	20 (土)	大学コンソーシアム科目授業終了
7 / 10 (木)	前期 単位認定試験 時間割発表(10:00)	22 (月)	授業終了
12 (土)	祇園祭・鈴曳き初め(1年次生全員参加)	23 (火)	天皇誕生日(休日)
15 (火)	祇園祭「花きらきら」(授業は休講)	24 (水)	冬期休暇開始(→1/4)
16 (水)		1 / 1 (木)	元旦(休日)
17 (木)	休講	4 (日)	冬期休暇終了
21 (月)	海の日(休日)	5 (月)	授業再開
26 (土)	大学コンソーシアム科目前期授業終了	7 (水)	大学コンソーシアム科目授業再開
29 (火)	前期 授業終了	12 (月)	成人の日(休日)
30 (水)	補講日	17 (土)	後期 大学コンソーシアム科目授業終了
31 (木)	補講日	19 (月)	後期 授業終了
8 / 1 (金)	前期単位認定試験	20 (火)	補講日
↓	8/1(金)レポート試験提出締切日	21 (水)	補講日
7 (木)	8/2(土)大学コンソーシアム科目試験	22 (木)	後期単位認定試験 ↓ 1/22(木)レポート試験提出締切日 1/24(土)大学コンソーシアム科目試験
8 (金)	夏期休暇開始(→9/16)	↓	
20 (水)	前期 追試験 申請締切日	28 (水)	準備
25 (月)	前期 単位認定試験 不合格者発表(10:00)	30 (金)	卒業展 展示 展示
27 (水)	前期 再試験 申請締切日	31 (土)	
9 / 1 (月)	前期 追・再試験時間割 発表(10:00)	2 / 1 (日)	後期 追試験 申請締切日 後期 単位認定試験 不合格者発表(10:00)
3 (水)	前期 追・再試験	4 (水)	
4 (木)		夏期集中講義	9 (月)
5 (金)	「和と美の日本文化」	11 (水)	後期 再試験 申請締切日
8 (月)	「フラワービジネス論」	12 (木)	後期 追・再試験時間割 発表(10:00)
↓	敬老の日(休日)	16 (月)	後期 追・再試験
12 (金)	夏期休暇終了	18 (水)	
15 (月)	前期 成績発表(1年次10:00、2年次13:00)	19 (木)	卒業認定者発表 第62回卒業式
16 (火)		20 (金)	
17 (水)		21 (土)	春分の日(休日)
		24 (火)	後期 成績発表(新2年次生 10:00)
		25 (水)	新2年次生 ↓ オリエンテーション・履修登録
		27 (金)	
		31 (火)	2014年度終了

補講については、設定された補講日、土曜日の午前中、及び平日に実施する。

